

令和3年度  
名古屋市立大学大学院看護学研究科  
博士前期課程（看護学専攻）

# 学生募集要項

名古屋市立大学大学院看護学研究科

新型コロナウイルス感染症の状況により、今後、入学者選抜期日及び方法が変更される場合がありますので、本学ウェブサイト「大学院入試に関するお知らせ」のページを随時ご確認ください。

<https://www.nagoya-cu.ac.jp/admissions/graduate/information/index.html>



## 名古屋市立大学大学院アドミッション・ポリシー

名古屋市立大学は、「全ての市民が誇りに思う・愛着の持てる大学をめざす」ことを大学の基本的理念として掲げ、大学院教育では、大学院生への研究指導は研究活動の活性化の一環であるとの認識に基づき、高度な専門性と学際的視点を備えた研究者及び職業人を育成することを目標としている。

本大学院では、これらの理念や目標のもとに、基本的な専門知識と技術を持ち、高度な専門性と国内外で活躍する意欲と適性を備えた、多様な能力や経歴を有する人材を広く求めている。

### 【看護学研究科博士前期課程】

#### 《求める学生像》

- ・豊かな人間性、柔軟な姿勢、ニーズを汲み取る感性、高い倫理観を持ちあわせている人
- ・高度な看護実践能力をもって人々の健康生活支援に関わることにやりがいと使命を感じている人
- ・大学院で修得したことを基盤に、実践の場で問題を適切に解決していくリーダー的存在となる意志のある人
- ・身に付けた幅広い知識や分析力をもとに、多職種と連携し、チーム医療を推進する意志のある人
- ・看護学の教育者・研究者・高度実践家をめざすために、十分な教育研究力を身につけようとする意欲にあふれる人
- ・研究を遂行し、実践を探究するための自律性および向学の志が高い人

#### 《修得しておくべき知識の内容・水準》

- ・看護学をより深く学ぶために必要な学士課程卒業レベルの専門知識
- ・共感的、援助的コミュニケーション能力
- ・研究に関する基礎的知識
- ・論文作成に必要な基礎的語学力並びに英語読解力

## 令和3年度大学院看護学研究科 入学者選抜試験スケジュール

対象者	事項	日程
資格審査を必要とする者のみ	資格審査申請期間	令和2年7月15日(水)～7月21日(火)
	資格審査結果発表	令和2年8月3日(月)
出願者全員	出願期間	令和2年8月13日(木)～8月20日(木)
	選抜試験期日	令和2年9月12日(土)
	合格発表	令和2年9月24日(木)

## 1 募集人員

看護学専攻 24名（看護学領域 12名、助産学領域 12名）

募集する領域・コース・教育研究分野（教育研究分野の詳細については8ページ以降を参照ください。）

領域	コース	教育研究分野（コース）	
看護学領域	修士論文コース	性生殖看護学	
		成育保健看護学	
		クリティカルケア看護学	
		慢性看護学	
		高齢者看護学	
		看護マネジメント学	
		感染予防看護学	
		精神保健看護学	
		地域保健看護学	
		国際保健看護学	
	専門看護師教育コース	クリティカルケア看護学	注1
精神保健看護学		注1	
助産学領域	修士論文コース	助産学	注2
	上級実践コース	アドバンスコース	注2
		助産師国家試験受験資格取得コース	注3

注1) 専門看護師教育コースを志望する者は、下記**出願資格(1)～(10)**のいずれかに該当する出願資格を有し、かつ看護師免許を有すること。

注2) 助産学領域の修士論文コースもしくは上級実践コース（アドバンスコース）を志望する者は、下記**出願資格(1)～(10)**のいずれかに該当する出願資格を有し、かつ助産師免許（令和3年3月31日までに取得見込みを含む）を有すること。

注3) 助産学領域の上級実践コース（助産師国家試験受験資格取得コース）を志望する者は、下記**出願資格(1)～(10)**のいずれかに該当する出願資格を有し、かつ看護師免許（令和3年3月31日までに取得見込みを含む）を有すること。

## 2 出願資格

出願資格は、次のいずれかに該当すること。

- (1) 大学を卒業した者又は令和3年3月卒業見込みの者
- (2) 学校教育法第104条第4項の規定により、独立行政法人大学改革支援・学位授与機構より学士の学位を授与された者、又は令和3年3月までに授与見込みの者
- (3) 外国において、学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (4) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより、当該外国の学校教育における16年の課程を修了した者、又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (5) 我が国において、外国の大学の課程（その修了者が当該外国の学校教育における16年の課程を修了したとされるものに限る）を有するものとして、当該外国の学校教育制度において、位置付けられた教育施設であって、文部科学大臣が別に指定するものの当該課程を修了した者、又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (6) 外国の大学その他の外国の学校（その教育研究活動等の総合的な状況について、当該外国の政府又は関係機関の認証を受けた者による評価を受けたもの、又はこれに準ずるものとして文部科学大臣が別に指定するものに限る。）において、修業年限が3年以上である課程を修了すること（当該外国の学校が行う通信教育における授業科目を、我が国において履修することにより当該課程を修了すること、及び当該

外国の学校教育制度において位置付けられた教育施設であって、前号の指定を受けたものにおいて課程を修了することを含む。)により、学士の学位に相当する学位を授与された者、又は令和3年3月までに授与見込みの者

- (7) 専修学校の専門課程（修業年限が4年以上であることその他の文部科学大臣が定める基準を満たすものに限る。）で文部科学大臣が別に指定するものを文部科学大臣が定める日以後に修了した者、又は令和3年3月までに修了見込みの者
- (8) 文部科学大臣の指定した者
- (9) 大学に3年以上在学し、又は外国において学校教育における15年の課程を修了し、本学看護学研究科において、所定の単位を優れた成績をもって修得したと認められた者
- (10) 本学看護学研究科において、個別の入学資格審査により、大学を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者で、令和3年3月31日までに22歳に達するもの

### 3 資格審査（出願資格(9)(10)で出願しようとする者は資格審査を受けること。）

#### (1) 資格審査申請期間

令和2年7月15日（水）～7月21日（火）【必着】

#### (2) 申請書類（書類の作成は、5 出願書類等に準じること。）

- |  |   |             |
|--|---|-------------|
| ①資格審査願<br>②履歴書<br>③業績書                   | } | ①～③は所定用紙を使用 |
| ④最終学歴 <sup>*</sup> の学校長が作成した卒業証明書及び成績証明書 |   |             |

※看護師、保健師又は助産師の免許を有する者にあつては、その免許を取得するために卒業したすべての養成所等の卒業証明書及び成績証明書もあわせて提出してください。

※卒業証明書、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

#### (3) 資格審査に必要な提出書類の郵送方法及び郵送先

封筒の表に「看護学研究科博士前期課程資格審査書類在中」と朱書きし、上記(2)の申請書類を次ページ記載の提出先に、必ず書留速達で郵送してください。申請は郵送に限ります。窓口受付は行いません。

国外から申請する場合は、必ず日本国内在住の代理人が申請手続きを行ってください。この場合、本学からの通知も代理人あてに行います。（外国からの郵送による申請は受け付けませんので、注意してください。）

#### (4) 審査結果

審査結果は、令和2年8月3日（月）以降に通知します。

### 4 出願手続

#### (1) 出願期日

令和2年8月13日（木）～8月20日（木）【必着】

#### (2) 出願方法及び出願先

- ・ 本学所定の封筒に出願書類を入れ、書留速達で次ページ記載の提出先まで郵送してください。出願は郵送に限ります。窓口受付は行いません。
- ・ 専門看護師教育コース（クリティカルケア看護学分野及び精神保健看護学分野）を希望する場合は、担当教員に事前に相談してください。（連絡先は8ページ以降の担当教員一覧を参照ください。）
- ・ 期限までに到着しなかった場合は受理しません。（期間内消印有効ではないので注意してください。）
- ・ 国外から出願する場合は、必ず日本国内在住の代理人が出願手続きを行ってください。この場合、本学からの通知も代理人あてに行います。（外国からの郵送による出願は受け付けませんので注意してください。）
- ・ 出願書類を受理したときは、受験票、受験案内を送付します。

\*令和2年9月2日(水)を過ぎても届かない場合は、学生課入試係看護学研究科入試担当にお尋ねください。

- ・外国の高等教育機関で発行された卒業証明書等で、再発行ができないものについては、コピーの提出を認めます。この場合、原本の送付は必要ありませんが、入学手続きの際に原本を確認するので、必ず原本を持参してください。

**<資格審査申請書類・出願書類 提出先>**

〒467-8601 名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地

名古屋市立大学事務局学生課入試係 看護学研究科入試担当

**5 出願書類等**

書 類 等	摘 要
① 入学願書 写真票 受験票	[本学所定用紙使用] 写真は、正面、上半身、無帽、背景なし、カラー、縦4cm×横3cm、出願前3か月以内に撮影したものを貼り付けしてください。 受信場所は、確実に連絡のとれるところを記入してください。
② 履 歴 書	[本学所定用紙使用] ・学歴は、高校卒業から記入してください。 ・職歴があれば記入してください。 ・看護師、保健師又は助産師免許を所持する場合は、その免許登録番号を記入してください。 ・出願資格(3)～(7)又は(9)により出願する者は、初等教育(小学校相当)から高等教育(大学相当)まで、修了した学校教育を全て記入してください。
③ 卒業証明書 (卒業見込証明書)	在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 出願資格(2)又は(8)により出願する者は、資格を証明する書類を提出してください。出願資格(3)～(7)により出願する者は、修了した高等教育機関(大学相当)の卒業証明書を提出してください。コピーは認めません。ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合は、原本を送らないでください。合格者には入学手続きの際に原本を持参していただきます。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。
④ 成績証明書	在籍又は最終学歴の学校等の長が作成したもの。 出願資格(3)～(7)又は(9)により出願する者は、修了した高等教育機関(大学相当)の成績証明書を提出してください。コピーは認めません。ただし、外国の高等教育機関で発行された証明書で、再発行ができないものについてはコピーの提出を認めます。この場合は、原本を送らないでください。合格者には入学手続きの際に原本を持参していただきます。日本語訳も任意の様式で作成し、必ず添付してください。証明書に直接書き込まないでください。 出願資格(2)又は(8)により出願する者は、提出の必要はありません。
⑤ 学修計画書	[本学所定用紙使用]
⑥ 住 民 票 (外国籍の者のみ)	・外国籍の者で在留資格がある者は提出してください。 ・在留資格が短期の者は、パスポートに押された日本の査証の写しを提出してください。 ・国外在住者が出願する場合は、パスポートの写しを提出してください。

		※個人番号（マイナンバー）が省略された住民票を取得してください。取得した住民票に個人番号が記載されている場合は、油性ペンなどを使用して塗りつぶし、完全に見えない状態で提出してください。
⑦	入学検定料等 (30,374円)	振込依頼書（本学所定のもの）を使用し、必要事項を記入のうえ、30,374円（入学検定料30,000円＋受験票等送付のための速達郵便料金374円）を添えて銀行などで振り込んでください。 <b>ゆうちょ銀行（旧郵便局）では取り扱いません。また、ATM等は使わず、必ず窓口で振り込んでください。</b> 振込手数料は、志願者本人の負担となります。 銀行などから受け取った「検定料納付証明書（B票）」を、他の出願書類と一緒に提出してください。「振込金（兼手数料）受領書（A票）」は、入学志願者が保管するものですから、注意してください。
⑧	あて名用シール	〔本学所定用紙使用〕 返信先を明記してください。受験票等の送付及び合否の通知に使用しますので、確実に受領できる住所・氏名を記入してください。

注1) 資格審査を申請した者は、出願時に②、③及び④の再提出は不要です。

注2) 志望する教育研究分野・コース（2ページ目参照）から1つを選択して、出願してください。

注3) 卒業証明書、成績証明書に記載された氏名と現在の氏名が異なっている者は、戸籍抄本など改氏名したことを証明できる書類をあわせて提出してください。

注4) 在職のまま就学を希望する者は、受験承認書や就学承認書は必要としませんが、勤務先とのトラブルが生じないように十分配慮してください。

注5) 原則、既納の入学検定料は返還しません。ただし、以下の場合には、納入された入学検定料を返還します。詳細は、本学ウェブサイトを確認してください。不明な点については、財務課経理係（電話：052-853-8013）へお問い合わせください。

- ・二重に振込んだ場合

- ・入学検定料等を振込んだが、出願書類を提出しなかった場合（出願が受理されなかった場合を含む）

注6) 提出された出願書類は返却しません。

## 6 障害等を有する入学志願者との事前相談

障害等がある入学志願者で、受験上及び修学上の配慮を必要とする方は、出願前までに必ず学生課入試係看護学研究科入試担当（電話：052-853-8020）まで申し出てください。

## 7 入学者選抜期日及び方法

### (1) 期日、時間、科目等

試験期日	試験時間	試験科目
令和2年9月12日（土）	10:00～11:30	<b>小論文</b> 志望した教育研究分野に関連するテーマ。 問題の一部に英文を含みます。 辞書1冊持込みを認めます（電子辞書不可）。
	13:00～	<b>面接</b> 提出した学修計画書をもとに行います。

### (2) 試験会場及び集合時間

名古屋市立大学看護学部棟（名古屋市瑞穂区瑞穂町字川澄1番地）

※受験票とともに、集合時間等を記載した受験案内をお送りします。

## 8 合格発表

令和2年9月24日（木）10:00

看護学部棟1階入口付近に掲示するとともに、本人あてに可否を通知します。

## 9 入学手続

### (1) 手続期日（予定）

令和2年10月中旬頃（合格通知とともにお知らせします。）

\*上記日時に手続できない場合、書留速達により**手続期日の前日必着**で書類を郵送してください。

### (2) 手続方法

合格発表後、速やかに詳細を本人あてにお知らせします。

### (3) 入学手続時に必要な経費

ア 入学料	名古屋市住民等	232,000円
	その他の者	332,000円
イ 学生教育研究災害傷害保険料		1,750円

注1) 上記は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度については改めてお知らせします。

注2) 名古屋市住民等とは、①入学者又は②入学者の配偶者若しくは1親等の親族が入学の日（4月1日）において、同日の前から引き続き1年以上の期間、名古屋市内に住所を有していたことを住民票により証明できる者を指します。

注3) 入学料等は、入学手続時までに金融機関で納入してください。既納の納付金は返還しません。

## 10 授業料

年額 535,800円（前期・後期分 各267,900円）

注1) 授業料は、入学後、年2回（前期・後期）に分けて納めてください（口座引落）。

注2) 授業料は、令和2年度入学者の金額であり、令和3年度については改めてお知らせします。

また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定後の授業料を適用します。

注3) 実習費などの諸経費が別途必要になります。

### 11 授業料の減免制度

経済的理由により授業料の納付が著しく困難であり、かつ学業優秀と認められる場合には審査の上、授業料の全額または半額、もしくは4分の1の額が免除されます。詳しくは、学生課学生支援係（電話：052-872-5042）へお問い合わせください。

### 12 長期履修制度

- ・職業を有している等の事情により、標準修業年限を超えて一定の期間にわたり計画的に教育課程を履修し、課程を修了することができる制度です。
- ・博士前期課程の標準修業年限は2年ですが、長期履修学生の在学期間は3年となります。
- ・授業料は、標準修業年限期間の授業料総額を決定された履修期間で按分した額とします（年額）。
- ・助産学領域の上級実践コース（助産師国家試験受験資格取得コース）には、長期履修制度は適用されません。
- ・この制度に関するお問い合わせは、看護学部事務室までお願いします（電話：052-853-8037）。

### 13 奨学金制度

日本学生支援機構において、大学院学生に対する貸与制度があります。

希望者については、本学において学業成績及び研究能力等を審査のうえ推薦手続をとります。

## 14 個人情報の取り扱い

個人情報については、「名古屋市個人情報保護条例」に基づいて、次のとおり取り扱います。

### (1) 個人情報の利用

- ア 出願書類等に記載された氏名、住所その他の個人情報については、入学者選抜業務（出願登録処理、選抜実施、合格発表、入学手続等）を行うため使用します。
- イ 入学者選抜に用いた試験成績等の個人情報を、今後の入学者選抜及び大学教育の改善のための調査研究や学術研究の資料として利用する場合があります。（調査研究の発表に際しては、個人が特定できない形で行います。）
- ウ 入学者の個人情報については、教務関係（学籍管理、就学指導等）、学生支援関係（健康管理、授業料免除・奨学金申請、就職支援等）、授業料徴収に関する業務を行うために利用します。

### (2) 業者への委託

上記(1)の各業務での利用に当たっては、個人情報の適切な取り扱いに関する契約を締結した上で、一部の業務を外部の事業者へ委託することがあります。

## 15 注意事項

- ・ 出願書類等が不備の場合は受理しません。
- ・ 出願書類等に虚偽の記載をした者は、入学後であっても入学を取り消すことがあります。
- ・ 出願書類等は返還しません。
- ・ 受信場所を変更した場合は、直ちに学生課入試係看護学研究科入試担当に連絡してください。
- ・ 二重学籍は原則禁止とします。
- ・ 悪天候や災害の発生時など、緊急時の連絡及び本募集要項の内容から変更する必要がある場合には、本学ウェブサイト及びスマホ・携帯電話サイト等により周知しますので、受験前は特に注意してください。また、受験者本人へ直接連絡する場合がありますので、入学願書や資格審査願には、必ず連絡のとれる連絡先を書いてください。

○本学ウェブサイト <https://www.nagoya-cu.ac.jp/>

○本学スマホ・携帯電話サイト <https://daigakuic.jp/nagoya-cu/>

### 敷地内全面禁煙について

本学は、敷地内禁煙を実施しており、学生の皆さんにも、この方針を遵守していただくとともに、大学周辺道路での禁煙にもご協力をいただいております。

領域	教育研究分野 担当教員名／連絡先	各研究分野【コース】の紹介
看護学領域	<p><b>性生殖看護学</b></p> <p>准教授 <b>渡邊 実香</b>／ e-mail: mikaw</p>	<p><b>【修士論文コース】</b></p> <p>リプロダクティブ・ヘルス／ライツの視点から、思春期・成熟期・更年期・老年期という各ライフステージにある女性とその家族への健康教育支援、看護援助方法の探求に取り組みます。</p> <p>マタニティ・ステージにある母性の発達ならびに母子とその家族の well-being の実現に向け、次代につなぐ看護援助方法を探求します。</p> <p>助産師の有資格者の場合は、助産学領域の助産学共通科目の一部の特論科目を受講することができます。また、性生殖看護学・助産学分野として、助産学分野の学生と研究に関わるディスカッションの機会を予定しています。</p>
	<p><b>成育保健看護学</b></p> <p>教授 <b>堀田 法子</b>／ e-mail: hottanor</p>	<p><b>【修士論文コース】</b></p> <p>子どもが育つ過程に生じる健康課題や健康問題、病気や障害をもつ子どもやその家族の健康問題や危機的状況などに焦点をあて、その問題について検討します。胎児期から思春期までの小児各期の発達特性や健康生活の特徴をふまえ、健康問題が起こっている現象の理解を深め、問題解決に向けての看護学的接近法を探求します。</p> <p>研究の基本的プロセスとして、健康問題を特定するためにリサーチクエスト（研究疑問）の立て方、それを解くために必要な文献検討を行い、研究計画を立て、倫理審査を受審し、データ収集・分析方法、成果報告の仕方を学びます。</p>
	<p><b>クリティカルケア看護学</b></p> <p>教授 <b>明石 恵子</b>／ e-mail: akashi</p> <p>准教授 <b>益田 美津美</b>／ e-mail: m.masuda</p>	<p><b>【修士論文コース】</b></p> <p>急性臓器障害や侵襲的治療によって生命の危機状態に陥った人々の特徴や体験、患者や家族の看護問題や倫理的問題を検討します。そして、患者の生命維持、生理的機能回復、苦痛緩和、日常性回復、セルフケア能力回復、Quality of Life (QOL) 向上を目的とした看護援助、家族への支援方法を探究します。また、修士論文の作成においては、自らの研究疑問をもとに研究テーマを絞り込み、研究計画書作成、データ収集と分析、考察などの研究プロセスを修得します。学生には、主体的な研究活動とともに、大学院ゼミを活用した積極的な議論を期待しています。</p> <p><b>【専門看護師教育コース】</b></p> <p>急性・重症患者看護専門看護師には緊急度や重症度の高い患者に対するケアとケアの融合による直接的ケアや苦痛緩和、家族支援などの実践、倫理的問題の調整、多職種間との連携・協働、教育などを通して、最善の医療が提供されるよう支援することが求められます。本コースでは最新の治療・看護に関するエビデンスを学修し、学生の主体的な講義参加、事例に対する多面的な議論、職種間連携を考慮した実習によって高度な看護実践能力を修得します。さらに、看護実践上の疑問をもとに課題研究に取り組み、研究のプロセスを修得します。</p>
	<p><b>慢性看護学</b></p> <p>教授 <b>安東 由佳子</b>／ e-mail: yukakoa</p>	<p><b>【修士論文コース】</b></p> <p>慢性看護学分野では、慢性疾患を有する人々やその家族を対象として、看護ケアの質向上に貢献することを目標に、科学的根拠（Evidence）に基づいた看護ケアを探求します。具体的には、生活習慣病の発症や重症化予防、セルフマネジメント、患者や家族の QOL や健康問題、意思決定等をテーマとして、成果を臨床現場に還元できることを目指して、研究に取り組んでいます。また、臨床で働く看護師や看護学生のメンタルヘルスの研究も行っています。修士論文作成のプロセスを通して、Evidence に基づいて、物事を論理的に捉える能力を高めながら、研究能力を育成していきます。</p>

領域	教育研究分野 担当教員名／連絡先	各研究分野【コース】の紹介
看護学領域	<b>高齢者看護学</b>  教授 山田 紀代美／ e-mail: yamadaky  准教授 原沢 優子／ e-mail: harasawa	<b>【修士論文コース】</b> 高齢者看護学分野は、加齢に伴う諸機能の変化や低下、疾病による健康障害やそれに伴う心理・精神的課題、あるいは生活や家族への影響などをアセスメントする方法、ならびに予防や改善あるいは受容に向けた看護援助方法等を研究します。高齢者の生活の場面は、地域や施設、病院など多様です。その高齢期の QOL の向上あるいはエンド・オブ・ライフケアについても探求していきます。研究方法については、基本的な研究プロセスである文献検討、研究課題を解明する研究手法、論文作成まで修得します。
	<b>看護マネジメント学</b>  准教授 樺野 香苗／ e-mail: momino	<b>【修士論文コース】</b> 保健・医療における看護の質向上に向けて、ケアマネジメントの視点から、緩和ケアを必要としている対象への症状マネジメント、意思決定支援や End of Life (EOL) ケア提供システムの構築、心理療法やコミュニケーションスキル等の看護介入方法、ケア提供者である看護師のストレスマネジメント等について探求していきます。関連論文を批判的に読み、研究計画を立案・実施し、研究論文を執筆する一連のプロセスを通じて、研究的視点を養うとともに、研究を行う基礎的能力の修得を目指します。
	<b>感染予防看護学</b>  教授 矢野 久子／ e-mail: yanohisa  准教授 脇本 寛子／ e-mail: wakimoto	<b>【修士論文コース】</b> 医療関連感染などの感染予防ケアに関する研究を行っています。感染予防は、小児から高齢者まで、あるいは病院での急性期から慢性期、施設や在宅での長期療養まで幅広く求められる領域です。個人及び集団に対して多角的な視点で探求します。感染管理認定看護師等の臨床看護師や教員の方は、在職のままで学修継続ができる長期履修制度を活用することが多いです。長期履修生は、1年次に先行研究の文献検討と研究テーマの明確化、研究手法の習得、2年次に倫理審査の受審とデータ収集、3年次にデータ収集・解析と修士論文の作成を行います。
	<b>精神保健看護学</b>  教授 香月 富士日／ e-mail: katsuki	<b>【修士論文コース】</b> 精神疾患をもつ方やそのご家族に対して、より良い専門的ケアの提供やケア提供システムを構築できることを目的に、各関連要因の関係性の分析を研究的視点を用いながら探求します。 また、看護職を対象としたメンタルヘルスや感情の問題を取り上げ、看護職者が健康的に働き続けるためのサポート方法を探求します。 <b>【専門看護師教育コース】</b> 精神看護専門看護師は、精神領域の対象者・家族・集団に対して、卓越した看護援助を行う力を必要とします。このコースでは、精神症状と健康問題の適切な査定を行った上で、看護を展開できるようにします。 また、精神領域の特殊な介入として、個人・集団・家族に対するセラピーを行う力を養います。実習においては、講義・演習で得た知識・技術をもとに、対象者の直接看護ケア、コンサルテーション、コーディネーションおよびセラピーの実際を指導を受けながら行い、精神専門看護師としての総合的な能力を習得します。

領域	教育研究分野 担当教員名／連絡先	各研究分野【コース】の紹介
看護学領域	<b>地域保健看護学</b>  教授 門間 晶子／ e-mail: akado  准教授 尾崎 伊都子／ e-mail: itsuko	<b>【修士論文コース】</b> この分野では、地域で様々な事情を抱えながら暮らす人々の生活や健康の状況、看護職者の活動、およびそれらにどのような要素が関連し影響しているのかについて探求します。大学院生の関心・疑問が研究で取り扱う問い(研究疑問)へと洗練され、明確な目的に基づく研究計画立案、調査実施、データ分析、論文作成という一連のプロセスを歩みます。研究を進めるうえでは、地域住民のとらえ方や視点を尊重した研究方法を検討します。当事者、家族、支援者など、様々な人々の相互作用や保健師等看護職者の支援のあり方の検討にもつながる研究ができると考えます。
	<b>国際保健看護学</b>  教授 樋口 倫代／ e-mail: michiyoh  准教授 金子 典代／ e-mail: noriyok	<b>【修士論文コース】</b> 疫学を中心に、健康科学、社会科学など学際的なアプローチを用いて、国際的視点をもって取り組むべき健康課題の現状把握、対策について探求します。博士前期課程では、基本的研究手法の習得と先行研究検討を通して問題意識を「取り組み可能な問い」に作り上げて行くこと、そして、その問いにふさわしい研究計画を立て、データ収集、分析、論文を作成する一連のプロセスを学ぶことに重点をおきます。マイノリティや脆弱な集団の健康や、健康における公正を目指そうとする研究課題であれば、研究対象地は国内・外を問いません。
助産学領域	<b>助産学</b>  准教授 渡邊 実香／ e-mail: mikaw	<b>【修士論文コース】</b> 助産学領域における女性とその家族、母子の健康維持や健康を阻害する問題に関わる臨床疑問や臨地的な課題の中から取り組む研究課題を明確にします。その研究課題に対し、適切な研究手法を用いて助産学的視点から探究し、修士論文を作成します。 助産師免許（取得見込み含む）を有することが必要です。将来的に研究者・教育者を目指している方は、アドバンスコースより修士論文コースを勧めます。
		<b>【アドバンスコース】</b> 助産師免許（取得見込み含む）を有する者がスキルアップを行い、より高度な助産実践能力を修得できるようリカレント教育を行います。2年前期に実習2科目・実習計画に必要な演習を履修し、課題研究に取り組むところが修士論文コースとの主な違いです。助産学特論・演習・実習を通して研究課題を明確にし、研究の一連のプロセスを通して助産ケアに貢献しうる知見を課題研究成果物としてまとめます。臨地での活躍が期待されます。 助産師免許（取得見込み含む）を有することが必要です。
		<b>【上級実践コース】</b> <b>【助産師国家試験受験資格取得コース】</b> 基礎助産学の習得、周産期ケアや女性の健康支援について学修を深めることにより、研究的素養と高度な助産実践能力を将来発揮できる助産師の育成を目指しています。看護師免許（看護師国家試験受験資格）を有することが必要です。修了要件の30単位に加え、助産師国家試験受験資格取得に必要な29単位を習得します。国家試験受験資格取得に必要な実習11単位を1年後期に、2年前期に上級実践コースの実習2科目を行います。講義・演習・実習を通して研究課題を明確にし、助産ケアに貢献しうる知見を課題研究成果物としてまとめます。

注) 教育研究分野に複数の担当教員がいる場合、担当教員は入学後に決まります。

